

穂学



令和3年度

広州日本人学校 学校便り

[No.21] ※最終号

令和4年3月10日(木)

発行責任者 校長 加藤康徳

「Milestone (マイルストーン)」

本日、令和3年度の修了式・離任式が行われました。「節目」を大切にしている日本人学校では、修了式は卒業式(3/9実施)と同じくらい大切な行事と言えます。

今年度も本当にいろいろな出来事がありました。しかし、コロナ禍の中「子どもの教育活動を止めない」ただその一点だけのために、本校では、絶えず正しい情報を集め、我慢できるところは我慢をし、乗り越えられそうなことには知恵を絞り、工夫を凝らしながらこれまで教育活動を推進してきました。これも、一重に保護者や理事会等の関係者の皆様のご支援の賜物だと思っております。

「節目」は英語に翻訳すると「Milestone (マイルストーン)」だそうです。ビジネスの世界では、「マイルストーン」は、目的を達成するための区切りとなる段階や、途中の大切な節目、画期的なできごとを指して使われています。でも節目は決して「終わりではありません」さらなる目標に向かっての単なる「区切り」です。子ども達にはこの「区切りの日」をいつまでも心の「マイルストーン」として大切にしてもらいながら、次の目標に向かって力強く歩んでもらいたいです。広州日本人学校の令和3年度の学年、学級は今日を持って解散します。子ども達にはそれぞれの場所で4月から頑張ってもらいたいです。

保護者の皆様、及び関係者の皆様の本校教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。1年間ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

<この3月に日本に帰国される先生方を紹介いたします。>

- 尾嶋 涉 「3年間ありがとうございました。ずっとずっと応援しています。」
- 須田 哲 「広州日本人学校で皆様に出会えて幸せです。感謝しかありません。」
- 溜 久美子 「日本人学校での出会いを胸に日本でも頑張ります！」
- 枝廣 直樹 「この三年間は私にとって忘れられない宝物です。ずっと応援しています。」
- 松本 慶 「ずっと広州にいたいと思える素敵な出会いや思い出をありがとうございます。」
- 松崎 靖彦 「皆様に支えられ、今日を迎えられます。三年間ありがとうございました。」
- 室屋 孔史 「皆さまのご協力のもと、任期を全うできました。お世話になりました。」
- 神田 阿子 「広州日本人学校で勤務することができ、幸せな3年間でした。」
- 長谷川 誌歩 「3年間本校の保健行事にご理解ご協力頂き有難うございました。」

広州日本人学校での思い出を胸にそれぞれの地でもがんばってください。3年間、本当にご苦勞様でした。ありがとうございました。

「令和3年度 つながりを未来に実感させる活動の紹介 総集編」



<学校経営スローガン>

「つながり」を「未来に実感させる」

広州日本人学校の創造

<卒業式 3/9※小 27名 中 12名の子ども達が卒業しました。>
 ※小学部 4年生以上の児童生徒が式の最後に元気に校歌を歌って、別れを惜しんでいました。

<大切にしている5つのつながり>

- ①先生とのつながり
- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり
- ⑤中国とのつながり



この1年間のご支援とご協力に感謝いたします。

ありがとうございました。